

航 空 自 衛 隊 仕 様 書			
仕様書の 種 類	内容による分類	装 備 品 等 仕 様 書	
	性質による分類	個 別 仕 様 書	
物品番号		仕 様 書 番 号	
品 名 又は 件 名	救難降下服, 外衣	C & L P S - 1 8 4 0 7 9 - 7	
		大臣承認	平成 年 月 日
		作成	平成13年 7月26日
		改正	平成29年 3月28日
			令和 3年11月10日
作成部隊等名	補 給 本 部		

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊の自衛官が着用する救難降下服、外衣について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、C & L P S - Y 0 0 0 0 7 の 1.2 による。

1.3 種類・構成

種類は、表 1 によるものとし、調達する種類は、調達要領指定書で指定する。

表 1 - 種類

種 類	物品番号
1号	8415-427-1470-5
2号	8415-427-1471-5
3号	8415-427-1472-5
4号	8415-427-1473-5
S S	8415-427-1474-5
注記 S Sは、特別サイズを示す。	

1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は、仕様書の名称及び種類による。

例 救難降下服, 外衣, 1号

1.5 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容が、この仕様書に定める内容と相違する場合は、この仕様書に定める内容が優先する。

品 名	救難降下服, 外衣
-----	-----------

a) 規格

J I S L 0 2 1 7	繊維製品の取り扱いに関する表示記号及びその表示方法
J I S L 0 8 4 2	紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
J I S L 0 8 4 4	洗濯に対する染色堅ろう度試験方法
J I S L 0 8 4 8	汗に対する染色堅ろう度試験方法
J I S L 0 8 4 9	摩擦に対する染色堅ろう度試験方法
J I S L 1 0 3 0 - 1	繊維製品の混用率試験方法—第1部：繊維鑑別
J I S L 1 0 3 0 - 2	繊維製品の混用率試験方法—第2部：繊維混用率
J I S L 1 0 9 1	繊維製品の燃焼性試験方法
J I S L 1 0 9 2	繊維製品の防水性試験方法
J I S L 1 0 9 6	織物及び編物の生地試験方法
J I S L 1 0 9 9	繊維製品の透湿度試験方法
J I S T 8 1 1 8	静電気帯電防止作業服
N D S Z 0 0 0 1	包装の総則
N D S Z 8 0 1 1	角形銘板

b) 仕様書

C & L P S - Y 0 0 0 0 7 調達品等一般共通仕様書

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は、付表1による。

2.2 加工

2.2.1 裁断

斜め裁ち及びはぎ裁ちをしてはならない。ただし、襟裏を除くものとする。

2.2.2 縫製要領

2.2.2.1 一般要領

一般要領は、次のとおりとする。

- a) 縫い始め及び縫い終わりは、完全に返し縫いをする。
- b) 縫い飛び及び縫い外れがなく、糸調子は、糸につれ及びたるみがなく、縫い目曲がりが目立たない。
- c) 針数は2.5 cm 間隔で、表面に現れた縫い目数とし、地縫い及び飾り縫いとも8針以上とする。
- d) 飾り縫いの幅は、0.2~0.5 cm とし、地縫い片倒し部は2本針ミシンをしようしてもよい。
- e) かんぬき止めは、機械かんぬき又は3回以上の本縫いミシンかんぬきとする。

2.2.2.2 細部要領

細部要領は、次によるほか、付図1~2による。

- a) 頭巾は、ひさし付きの3枚はぎとし、縫い合わせは地縫い片倒し飾り縫い又は2本針ミシン縫いとし、内側に片面キルトを縫い付け、側面内側に調整用のゴムテープを入れる。

品 名	救難降下服, 外衣
-----	-----------

- b) 襟はステン襟及び立ち襟兼用型（芯入り）とし、腰刺し1本を入れ、襟裏に頭巾着脱用押しボタンを取り付けるものとする。襟表及び襟裏は、地縫い返し飾り縫いとする。
- c) 上衣の裾は上がり幅2cm（基準）で折り返し、押え縫いとする。
- d) 上衣の脇、肩及び袖付けの縫い合わせは、地縫い飾りとし、その他の箇所は、本縫いミシンによるものとする。
- e) ライナーのアームホール及び裁目は、バイヤステープでくるみ縫いとする。
- f) 総裏とし、裏地の縫い合わせは、一条の地縫いとする。
- g) 縫い目の防水加工は、裏面から目止テープによる防水加工を施すものとし、縫い目の防水加工箇所は袖接ぎ合わせ部、袖付け回り及び肩及び脇下（スライドファスナより下部）とする。
- h) かんぬき止めは、機械かんぬき又は3回以上の本縫いミシンかんぬきとし、かんぬき止め箇所は、表2による。

表2－かんぬき止め箇所

区 分	かんぬき止め箇所		
外 衣	胸ポケット口	4箇所	計8箇所
	脇ポケット口	4箇所	

- i) 面ファスナの縫着箇所は表3による。

表3－面ファスナの縫着箇所

区 分	面ファスナ縫着箇所			
外 衣	襟先合わせ	おす	2箇所	計7箇所
		めす	1箇所	
	袖口	おす	2箇所	
		めす	2箇所	

- j) 押しボタン取付箇所は表4による。

表4－押しボタン取付箇所

区 分	面ファスナ縫着箇所		
外 衣	前合わせ	5箇所（組）	計26箇所 （組）
	ライナー取付け	9箇所（組）	
	頭巾前合わせ	2箇所（組）	
	頭巾取付け	4箇所（組）	
	風除け合わせ	2箇所（組）	
	胸ポケット雨蓋	2箇所（組）	
	脇ポケット雨蓋	2箇所（組）	

2.3 形状・寸法

2.3.1 形状

形状は、付図1及び付図2によるほか、次のとおりとする。

品 名	救難降下服, 外衣
-----	-----------

- a) 上衣は、ステン襟及び立襟襟兼用の長袖とし、襟裏に着脱式の頭巾を取り付けるものとする。
- b) 上衣の内側には、押しボタンによる着脱式のライナー付きとする。
- c) 前合わせは、スライドファスナと押しボタン併用の2種開閉式とする。
- d) 上衣胸部左右に、雨蓋付隠しポケットを取り付けるものとする。
- e) 上衣腰部内側に、腰しぼり用のひもを入れ、ひもの下部に風除けを付けるものとする。
- f) 袖口は面ファスナによる調整式とする。
- g) 上衣の両脇下にスライドファスナによる開口部（ベンチレーション）を設けるものとする。

2.3.2 寸法

寸法は、表5によるほか、付図1及び付図2による。

表5—寸法

単位 cm

項目／種類		1号	2号	3号	4号	SS	許容差
外 衣	着丈	88	84	80	76	—	±1.0
	胸回り	140	134	129	124		±2.0
	肩幅	53	51	49	47		±1.0
	袖丈	67	62	58	55		±0.5
ライナー	着丈	68	64	60	56		±1.0
	肩幅	51	49	47	45		±0.5
注記 SSサイズは、特別サイズとする。							

2.4 機能

機能は、次のとおりとする。

- a) 帯電電荷量は、JIS T 8118 箇条6に規定する方法で試験したとき1点当たり $0.6 \times 10^{-6} \text{C}$ 以下でなければならない。
- b) 難燃性を有する。
- c) IR加工は、付表2に示す赤外線反射率を有しなければならない。

2.5 外観

仕上りが優良で、きず及び汚れなどの欠点が目立たないものとする。

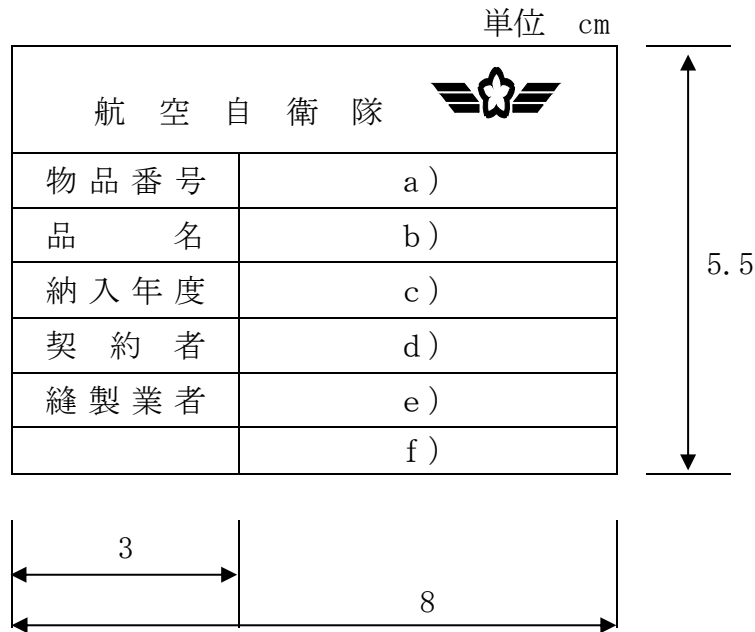
2.6 製品の表示

製品の表示は、次のとおりとし、用字及び書体は、NDS Z 8011により、記載事項及び枠は、にじみ及び退色しにくいものを用いて、鮮明に押印又は印刷する。

2.6.1 銘板

銘板は、図1に示す様式のを付図1及び付図2に示す位置に縫い付ける。

品名	救難降下服, 外衣
----	-----------



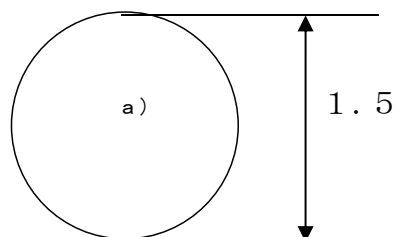
- 注記** 寸法は、基準を示す。
- 注^{a)}** 該当する物品番号を記入する。
- 注^{b)}** 該当する品名（製品の呼び方）を記入する。
例 救難降下服, 外衣, 1号
- 注^{c)}** 納入年度を記入する。
例 2021年度
- 注^{d)}** 契約の相手方の名称又はその略号を記入する。
- 注^{e)}** 縫製業者名を記入する。
- 注^{f)}** ブランクとする。

図1—銘板

2.6.2 種類印

種類印は、図2に示す様式のものをついて図1及び付図2に示す位置に鮮明に押印する。

単位 cm



- 注記** 寸法は、基準を示す。
- 注^{a)}** 該当する種類を記入する。ただし、“号”は省略してもよい。

図2—種類印

品 名	救難降下服, 外衣
-----	-----------

3 監督・検査

契約担当官等の定める監督及び検査実施要領により実施する。

4 出荷条件

4.1 包装

商慣習による。

4.2 外装の表示

外装の表示は、NDS Z 0001の表示・標識による。ただし、外装の表示内容及び位置については次のとおりとし、輸送諸元は商慣習により、表示位置は2面及び4面とする。

- a) 調達要求番号
- b) 物品番号
- c) 品名（製品の呼び方）
- d) 数量
- e) 納入年月

例 2021年3月

- f) 契約の相手方の名称又はその略号

5 その他の指示

5.1 承認用見本

契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.3に基づき、製作に先立ち、承認用見本として製品1着及び製品用生地を契約担当官等に提出し、製品については、外観及び色の、製品用生地については迷彩模様の承認を得なければならない。

5.2 その他

その他は、次による。

- a) 製造（織布，染色，縫製及びその他の特殊加工及びポリエステル混紡）は、日本国内において行う。
- b) 仕様書等に基づいて（契約の相手方が作成した図面等を含む。）製造した主材料及び製品が第三者（契約の相手方の下請負者等を除く。）に入手され、又は複製されることのないよう善良な管理者の注意をもって管理及び保管する。
- c) b)に関する管理及び保管に関し管理規定を作成（変更又は改正を含む。）し、速やかに契約担当官等を経由し、要求元の確認を得ること。ただし、当該規定が既に確認済みである場合はこの限りではない。
- d) 下請負者がある場合は、下請負者との間でc)に定める事項に準じて取決めを行うとともに、取り決めた文書をc)の要領で確認を得る。
- e) 仕様書，製造した主材料及び製品等が第三者に流出する等の事故が発生し、それらの疑い又はおそれがあったときは、適切な措置をとるとともに、速やかに契約担当官等を経由し、要求元に報告する。

品 名	救難降下服, 外衣
-----	-----------

付表 1 - 材料

区 分		規 定		用 途	
表生地 1		付表 1. 1 による。		前・後身頃, 袖及び脇雨蓋	
表生地 2		付表 1. 2 による。		前・後身頃, 袖及び脇雨蓋 以外の箇所	
裏生地		付表 1. 3 による。		外衣裏及び各ポケット袋	
ライナー	表生地	付表 1. 4 による。		本体	
	裏生地	付表 1. 3 による。		ライナー襟裏	
	中綿	付表 1. 5 による。		ライナー中綿及び頭巾中綿	
	ジャージ	1 2 G ゴム編, OD 色, 幅 45 cm		ライナー襟表	
芯地		不織布		襟, 胸雨蓋, 見返し及び頭 巾ひさし	
スライドファスナ		MH 級, ポリアセタ ール製, グレー色, 逆開き (引き手ひも 付き)	長さ 54 cm	前開き部 1 本 (2 号基準)	
		M 級, ポリアセタ ール製, グレー色, 止 (引き手ひも付き)	長さ 13 cm	胸ポケット部 2 本 (2 号基 準)	
			長さ 19 cm	脇 (ベンチレーション部) 2 本	
			長さ 21 cm	脇ポケット部 2 本 (2 号基 準)	
テープ		綿綾織, 幅 5 mm, 厚さ 1 mm, グレ ー色		スライドファスナ引き手	
ひも		綿丸打ち, ビニール 先止め, 径 4 mm, グ レー色	長さ 80 cm	頭巾締めひも (2 号基準)	
			長さ 150 cm	外衣締めひも (2 号基準)	
押しボタン		黄銅製ニッ ケルめっ き, 径 15 mm, 頭部は 合成樹脂加 工, りん青 銅リング式	グレー 色	オス, メス 組	頭巾 6 組, 上衣前開き 5 組, 風除け前合わせ 2 組, 胸ポケット雨蓋 2 組及び脇 ポケット雨蓋 2 組
				オスのみ	外衣 (ライナー取付用) 9 個
		OD 色	メスのみ	ライナー (上衣取付用) 9 個	
ストッパー		合成樹脂製, バネ入り		頭巾締めひも調整用 2 個及 び腰締めひも調整用 2 個	
銘板		綿 40 番ブロード, 白色, 裏面樹 脂加工		外衣及びライナー	

品 名	救難降下服, 外衣
-----	-----------

付表 1 - 材料 (続き)

区 分	規 定	用 途
縫糸	ポリエステル40番グレー色	外衣縫製用
	ポリエステル50番OD色	裏生地縫製用及びライナー縫製用
ゴムテープ	幅 20 mm (基準), 厚さ 1.2 mm, 伸度 100 %, 白色	頭巾調整用及び風除け
面ファスナ	幅 25 mm, グレー色	襟先合わせ, 裏地留め用
	幅 38 mm, グレー色	袖口部
目止テープ	ナイロン 100 %, トリコット, グレー色	縫い目の防水
バイヤステープ	幅 40 mm, OD色	ライナー縁取り

付表 1. 1 - 表生地 1

区 分		規 定	試験方法
繊維混用率	%	難燃ビニロン 70 ± 5 綿 30 ± 5	J I S L 1 0 3 0 - 1 及び J I S L 1 0 3 0 - 2 による。
原糸番手	たて	40 / 2	J I S L 1 0 9 6 による。
	よこ	40 / 2	
組 織		1 / 1 平織 ^{a)}	
密 度 本 / 2.5 cm	たて	97 以上	
	よこ	53 以上	
質量	g/m ²	270 以下	
寸法変化率 %	たて	-2.0 以内	J I S L 1 0 9 6 の D 法 による。
	よこ	-2.0 以内	
引張強度 N	たて	980 以上	J I S L 1 0 9 6 の ストリップ法 による。
	よこ	540 以上	
耐水度 k P a	初期	147 以上	J I S L 1 0 9 2 による。
	洗濯後	98 以上	J I S L 1 0 9 2 による。(J I S L 0 2 1 7 の 1 0 3 法 2 0 回 後)
透湿度 g / m ² 2 4 H r		10 000 以上	J I S L 1 0 9 9 の B 法 による。
はっ水度		4 以上	J I S L 1 0 9 2 の スプレー試験 による。
染色堅 ろう度 級	洗濯	4 以上	J I S L 0 8 4 4 の A - 2 号 による。
	耐光		J I S L 0 8 4 2 の 第 3 露光法 による。
	汗		J I S L 0 8 4 8 の A 法 による。
	摩擦 (乾燥)		J I S L 0 8 4 9 に の 摩擦試験機 II 形 による。

品名	救難降下服, 外衣
----	-----------

付表 1. 1-表生地 1 (続き)

区分	規定	試験方法
限界酸素指数	25以上	JIS L 1091のE-2法による。
生地幅 cm	140以上	—
加工	裏面にフッ素系樹脂をラミネートし、透湿防水加工を行うものとする。	
迷彩模様	付図3による。	
注 ^{a)} 生地に伝導性繊維を等間隔に織り込むこと。		

付表 1. 2-表生地 2

区分	規定	試験方法	
繊維混用率 %	難燃ビニロン 70±5 綿 30±5	JIS L 1030-1及び JIS L 1030-2による。	
原糸番手	たて	JIS L 1096による。	
	よこ		
組織	1/1平織 ^{a)}		
密度 本/2.5 cm	たて		97以上
	よこ		53以上
質量 g/m ²	220以下		
寸法変化率 %	たて	JIS L 1096のD法による。	
	よこ		
引張強度 N	たて	JIS L 1096のストリップ法による。	
	よこ		
はっ水度	4以上	JIS L 1092のスプレー試験による。	
染色堅 ろう度 級	洗濯	JIS L 0844のA-2号による。	
	耐光	JIS L 0842の第3露光法による。	
	汗	JIS L 0848のA法による。	
	摩擦 (乾燥)	JIS L 0849にの摩擦試験機II形による。	
限界酸素指数	25以上	JIS L 1091のE-2法による。	
生地幅 cm	150以上	—	
加工	染料染色にな染加工を施すものとする。		
迷彩模様	付図3による。		
注 ^{a)} 生地に伝導性繊維を等間隔に織り込むこと。			

品 名	救難降下服, 外衣
-----	-----------

付表 1. 3-裏生地及びライナー (裏生地)

区 分		規 定	試験方法
繊維混用率 %	たて	ポリエステル 100	JIS L 1030-1及び JIS L 1030-2による。
	よこ	ポリエステル 65±5 綿 35±5	
糸の見掛織 度及び見掛 番手	たて	83 dtex	JIS L 1096のA法による。
	よこ	45 s	
組 織		1/1平織	
密 度 本/2.5 cm	たて	120以上	
	よこ	90以上	
質 量 g/m ²		120以下	
寸法変化率 %	たて	-2.0以内	JIS L 1096のD法による。
	よこ	-2.0以内	
染色堅 ろう度 級	洗濯	4以上	JIS L 0844のA-2号によ る。
	耐光		JIS L 0842の第3露光法によ る。
	汗		JIS L 0848のB法による。
	摩擦 (乾燥)		JIS L 0849にの摩擦試験機II 形による。
色		OD色	—

付表 1. 4-ライナー (表生地)

区 分		規 定	試験方法
繊維混用率 %	たて	ポリエステル 100	JIS L 1030-1及び JIS L 1030-2による。
	よこ	ポリエステル 65±5 綿 35±5	
糸の見掛織 度	フロント	22 dtex, 56 dtex	JIS L 1096のA法による。
	バック	22 dtex	
組 織		トリコットリップストッ プ格子 (3 mm (基準))	
密 度 本/2.5 cm	たて	88以下	
	よこ	59以下	
質 量 g/m ²		75以下	

品名	救難降下服, 外衣
----	-----------

付表1. 4-ライナー (表生地) (続き)

区分		規定	試験方法
寸法変化率 %	たて	-1.0以内	JIS L 1096のD法による。
	よこ		
染色堅ろう度 級	洗濯	4以上	JIS L 0844のA-2号による。
	汗		JIS L 0848のB法による。
	摩擦 (乾燥)		JIS L 0849にの摩擦試験機II形による。
色		グリーン	—

付表1. 5-中綿

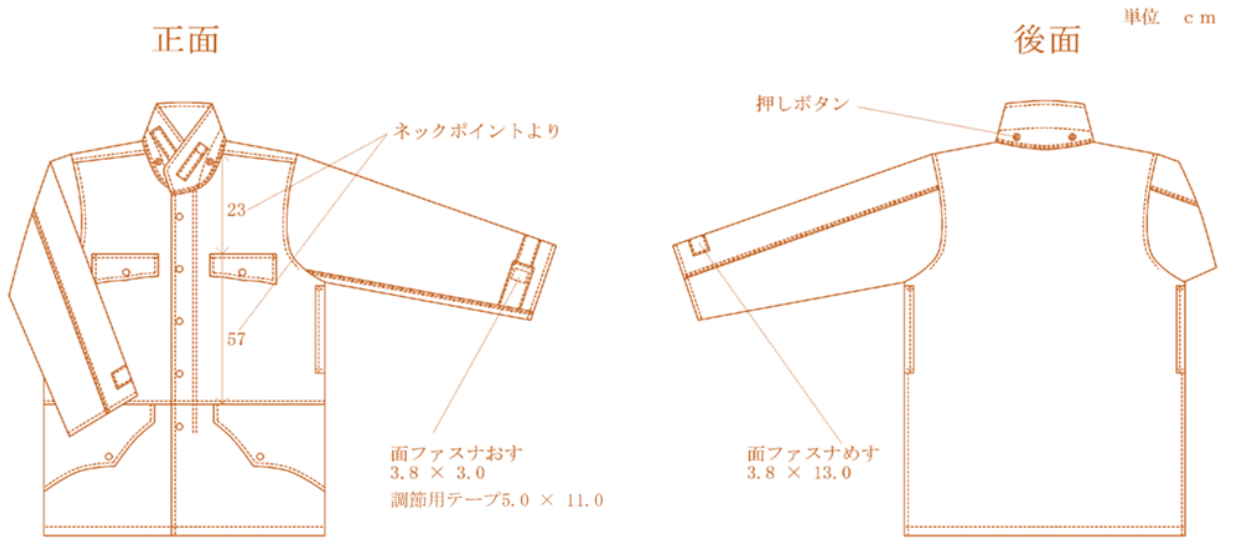
区分		規定	試験方法
構造		一層構造不織布	—
繊維混用率 %		ポリエステル 60±5 指定外繊維 40±5 (アクリレート系繊維)	JIS L 1030-1及び JIS L 1030-2による。
質量 g/m ²		35以上	JIS L 1096のA法による。

品名	救難降下服, 外衣
----	-----------

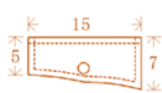
付表 2 - 色彩・赤外線反射率・面積比率

区分	10.0Y4.3/0.4 (ライトグレー)	10.0B2.8/0.4 (グレー)	7.4YR2.5/0.8 (ブラウン)	3.0B2.4/1.1 (ダークブルー)	5.0P1.9/0.4 (チャコールグレー)	
範囲	色相 H	10.0Y±5.0	10.0B±5.0	7.4YR±1.2	3.0B±1.2	5.0P±2.0
	明度 V	4.3±0.2	2.8±0.2	2.5±0.2	2.4±0.2	1.9±0.2
	彩度 C	0.4±0.3	0.4±0.3	0.8±0.4	1.1±0.4	0.4±0.3
波長 nm	赤外線反射率 %					
600	8~18	3~9	2~8	10 以下	10 以下	
620	8~18	3~9	2~8			
640	8~20	3~9	2~8			
660	10~22	4~11	3~10			
680	10~22	4~11	3~10			
700	10~24	5~15	4~13			3~13
720	14~28	5~15	4~14	3~13	15 以下	
740	14~28	6~20	5~15	3~13		
760	14~30	6~20	5~20	4~19		
780	18~34	7~25	6~20	5~20		
800	18~34	7~25	6~20	6~20		
820	20~39	9~26	8~26	8~26		
840	22~41	10~28	9~28	9~28	20 以下	
860	24~45	11~30	10~30	10~30		
1 000~ 1 200	47~67	36~57	32~56	32~56		
面積比率 %	4 8 ± 3	1 7 ± 3	1 0 ± 3	2 0 ± 3	5 ± 3	

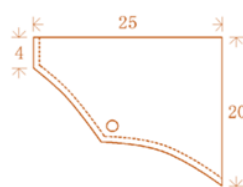
品名	救難降下服, 外衣
----	-----------



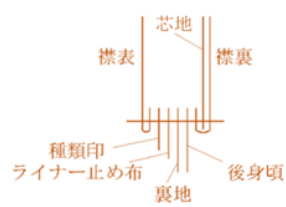
胸ポケット雨蓋



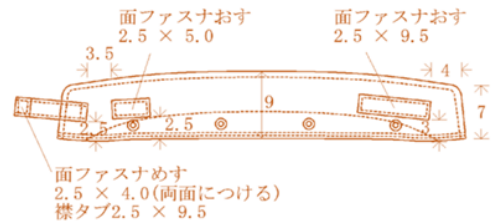
腰ポケット雨蓋



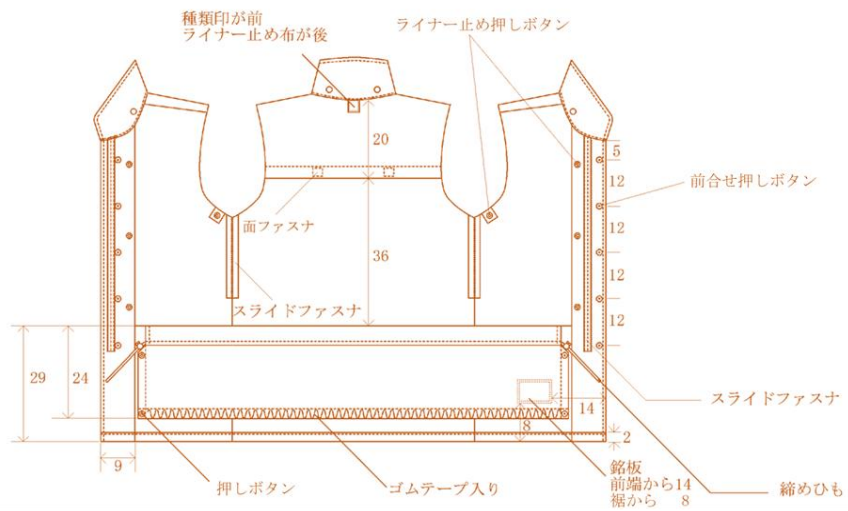
襟 断面図



襟裏



身頃 (裏)

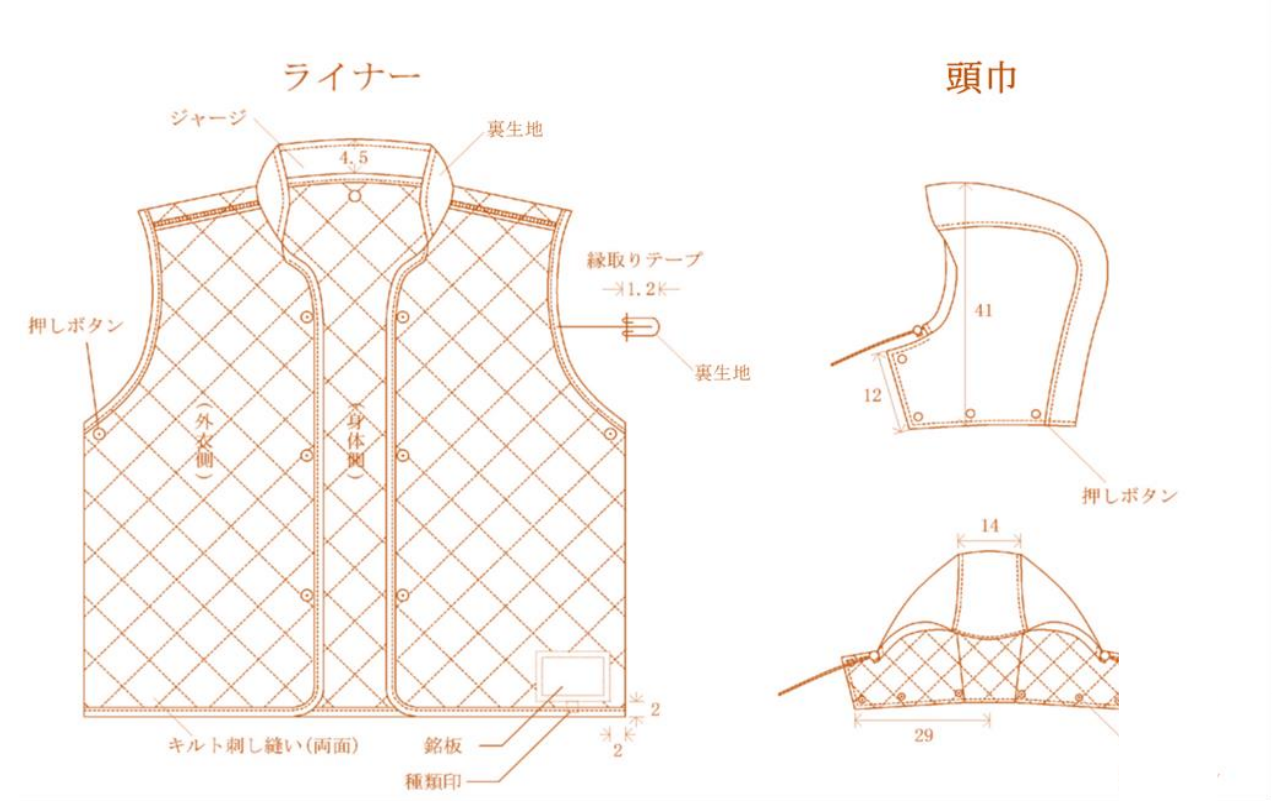


注記 この図は、2号を示したものであり、寸法は基準とする。

付図1-外衣

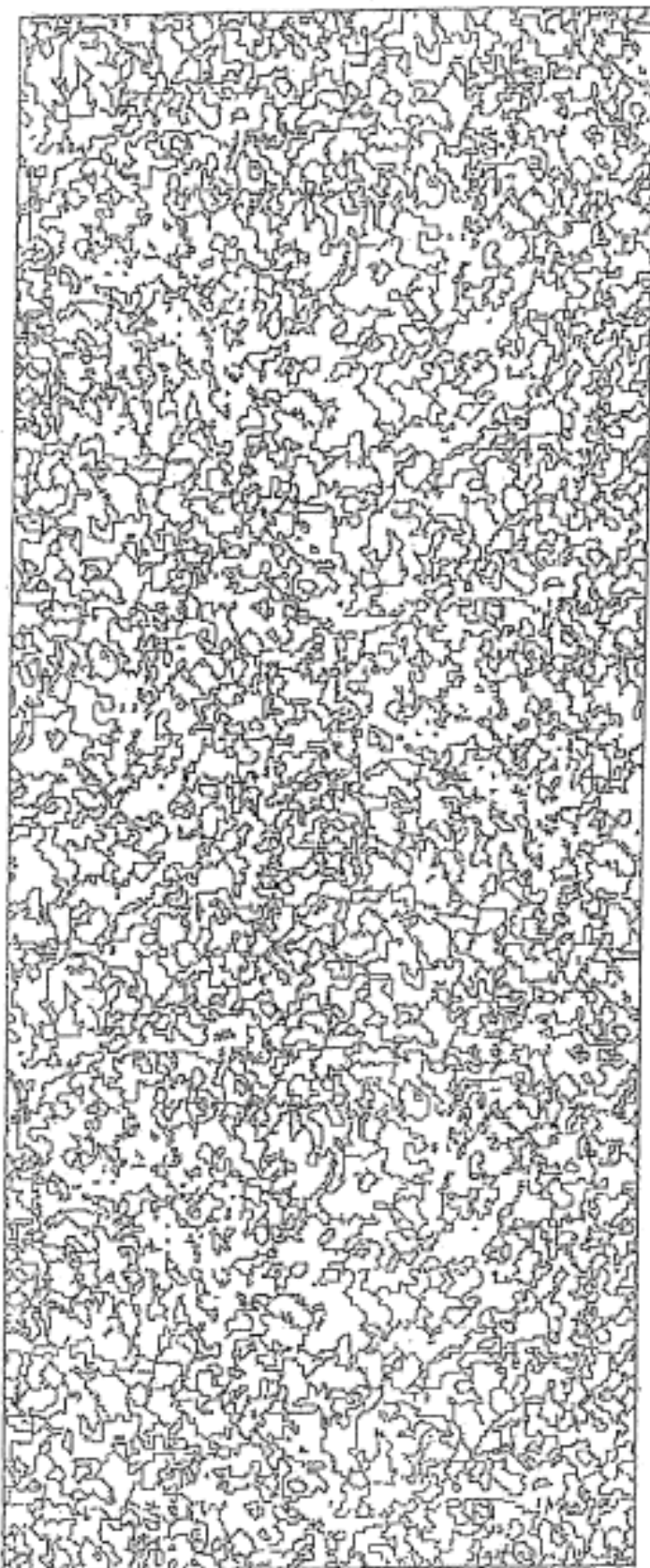
品名	救難降下服, 外衣
----	-----------

単位 cm



注記 この図は、2号を示したものであり、寸法は基準とする。

付図2-ライナー・頭巾



付図 3 - 迷彩模様